

『地域団体とNPO法人の連携促進事業』

2013-2014 事例集



あなたの寄附と
地域とNPO法人がつながり、
“まち”や“社会”の課題を解決する。



京都のまちの中にあるさまざまな地域の課題。
自治会・町内会や学区社会福祉協議会などの「地域団体」と
専門分野の知識やノウハウを持つ有志が集まった「NPO法人」がつながりあって
まちの「ほっとけない！」を解決していくため、
京都市と公益財団法人京都地域創造基金が協働して、
2013年7月に「地域団体とNPO法人の連携促進事業」を創設しました。

「地域団体とNPO法人の連携促進事業」は、
地域団体とNPO法人がお互いのノウハウや強みを活かしながら
地域の課題解決に向けて共に取り組む事業に寄附を募り、
市民の皆様からの寄附と同額を京都市が助成するプログラムです。

地域団体とNPO法人は、それぞれ成り立ちや性格も違いますが、
どちらも「より良いまち」のために頑張ろうという思いは同じです。
1つの団体だけでは実現が難しいことも、思いを1つに、
お互いが得意なところと苦手なところを助け合い、各々のノウハウを出し合っていけば、
実現できることが多くあると考えています。

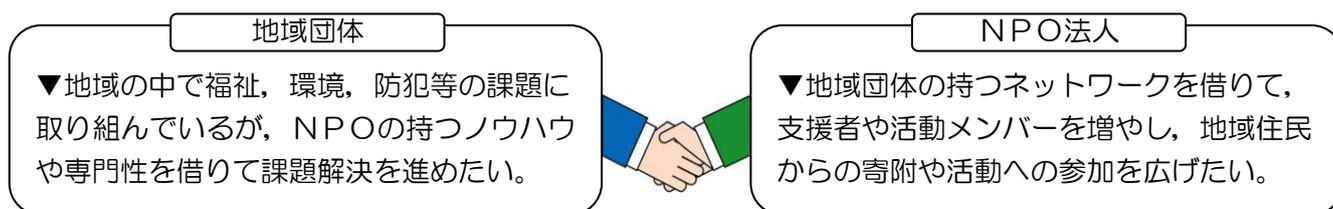
この度、「地域団体とNPO法人の連携促進事業」に取り組んだ団体の活動内容を紹介し、
そのノウハウを他の団体や地域に広め、
地域団体とNPO法人の連携による多様な事業展開が創出されるよう
2年間の取組を「事例集」として取りまとめました。

今後、まちづくりの主役である地域団体とNPO法人による
地域主体のまちづくりの輪が更に広がっていきますよう、
皆様の地域活動やNPO活動の一助とさせていただければ幸いです。

2015年6月
京都市文化市民局地域自治推進室
公益財団法人京都地域創造基金

『地域団体と NPO 法人の連携促進事業』の目的

地域団体が持つ「地域内のネットワークや課題把握の力」と NPO 法人が持つ「専門性や機動性」など、お互いのノウハウや強みを活かして地域の課題解決に取り組む活動を促進し、地域コミュニティの活性化と NPO 法人の活動基盤の強化を図ることを目的としています。



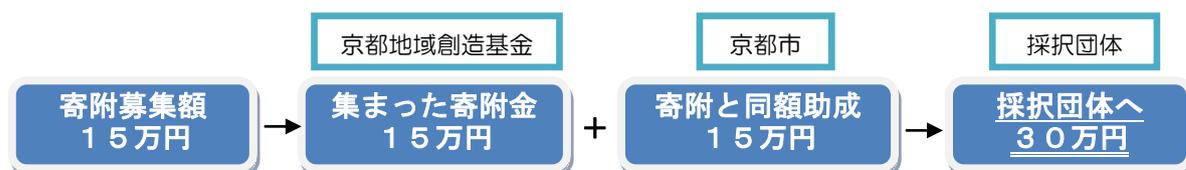
このような思いで生まれた事業を市民の皆様の「寄附」と「その寄附額と同額の助成金」で応援するプログラムです。

『地域団体と NPO 法人の連携促進事業』の概要

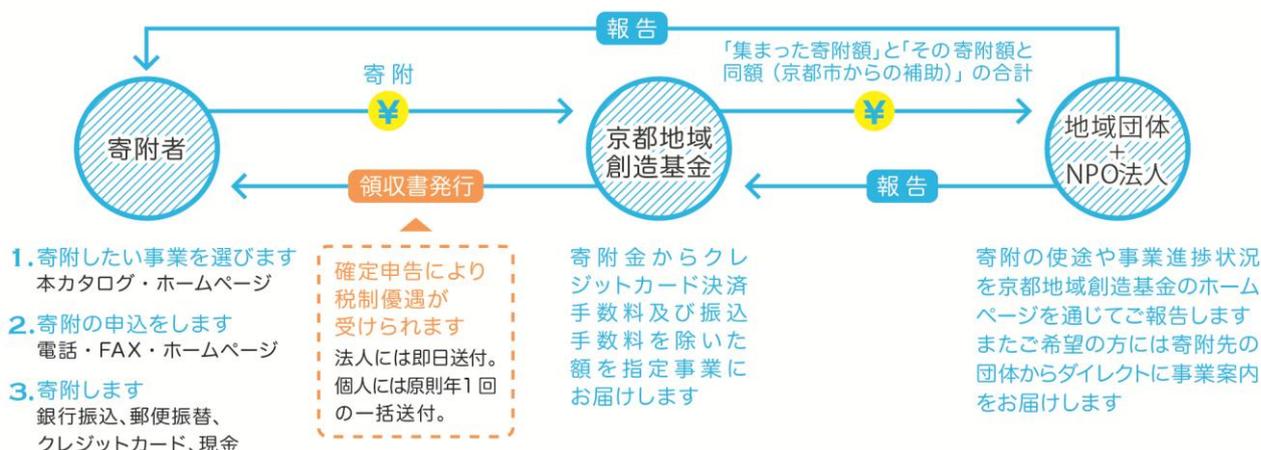
地域団体と NPO 法人が連携して地域の課題解決に取り組む事業について、市民の皆様から寄附を募り、集まった寄附額と同額を京都市が助成（上限：15万円※）します。（（公財）京都地域創造基金が寄附募集の銀行口座を作成して寄附金を受け入れます。）

※ 京都市の助成額の上限は、2014年度までは15万円でしたが、**2015年度からは25万円に増額しました。**

<例：15万円の寄附募集を行った場合>



寄附プログラムの仕組み



実践事例紹介

『地域団体とNPO法人の連携促進事業』を通じて、地域団体とNPO法人がお互いのノウハウを活かして「子育て支援」、「防犯」や「景観保全」等の地域課題の解決に効果的に取り組む18の事例が生まれました。

今後、地域団体とNPO法人の連携による多様な事業展開が生まれるよう、皆様の参考としていただきたく、実践事例紹介として取組の概要を取りまとめましたので、ご紹介します。(★マークの事業は、ピックアップ事例として、連携のきっかけやその具体的な取組、今後の展望を中心に取材を行いました。)

＜2013年度 採択事業＞

分野	実施団体名	事業名	掲載頁
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貞教学区自治連合会 ・ NPO法人音の風 	★貞教ふれあい福祉まつり&貞教夏祭り ～音楽を通して地域を活性化～	5,6
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山科地域防犯推進委員協議会大宅支部 ・ NPO法人発起塾 	★振り込め詐欺撲滅ミュージカルの上演	7,8
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラドール嵯峨野自治会 ・ NPO法人子育ては親育て みのりのもり劇場 	★パラドール嵯峨野きずな育み事業	9,10
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南浜学区社会福祉協議会 ・ NPO法人福祉工房P&P 	★納屋町商店街バリアフリー化促進事業 ～アート・交流・サポート～	11,12
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京極住民福祉連合会, 京極各種団体連絡会 ・ NPO法人みんなのNPO 	みんなの「働く」をつくろう ～地域の暮らしと商店街をつなぐ「働く」を考える!～	13
景観保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明倫学区まちづくり委員会 ・ NPO法人京町家再生研究会 	まちなかの暮らしを知る	13
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大原地域環境美化推進協議会 ・ NPO法人京都大原里づくり協会 	大原花いっぱい運動の展開	13
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深草学区保健協議会 ・ NPO法人京都・深草ふれあい隊 竹と緑 	花と香で深草のまちを彩る 藤袴プロジェクト	14
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山階学区自治連合会 ・ NPO法人山科醍醐こどものひろば 	地域イベントを活用した 地域団体・住民とNPOの出会いの場づくり	14
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桂徳社会福祉協議会 ・ NPO法人子どもの村 Kyoto 	桂徳地域への虹の架け橋	14

実践事例紹介

<2014年度 採択事業>

分野	実施団体名	事業名	掲載頁
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 水尾自治会 NPO法人和の学校 	<p>★こころ塾 IN 水尾 ～水尾の里を、学び、遊び、味わい、伝えよう!～</p>	15,16
	<ul style="list-style-type: none"> 嵯峨野保勝会 フラワーサイコロジエ協会 	<p>嵯峨野保勝会と学生が伝える 「こんなにええところもって知って」</p>	17
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> 上賀茂児童館運営協力会 NPO法人スウィング 	<p>障がいのある人と子どもたちが “楽しく” 出会うプロジェクト</p>	17
環境	<ul style="list-style-type: none"> 待賢住民福祉連合協議会 NPO法人京都景観フォーラム 	<p>待賢エコプロジェクト ～元待賢小学校を拠点に地域協働で資源ごみ回収～</p>	17
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> 岡崎自治連合会 NPO法人音の風 	<p>岡崎芸術祭 ～文化・芸術の街 岡崎～</p>	18
	<ul style="list-style-type: none"> 立誠自治連合会 NPO法人劇研 	<p>「映画原点の地・立誠」における、 映画文化による地域づくりと、映画振興事業</p>	18
	<ul style="list-style-type: none"> 京の三条まちづくり協議会 NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団 	<p>若者と高齢者をつなげる「さんクラ」 ～三条通でクラシック～</p>	18
防災 ・ 動物愛護	<ul style="list-style-type: none"> 朱雀第四学区自治連合会 NPO法人アンビシャス 	<p>共生型防災まちづくり “ペットも朱四のなかま！プロジェクト”</p>	19



「京都市地域コミュニティ活性化」ロゴマーク

地域交流の場に「音楽」を添えて新たなつながりづくり

地域団体	貞教学区自治連合会
NPO 法人	音の風
事業名	貞教ふれあい福祉まつり&貞教夏祭り～音楽を通して地域を活性化～
事業実施期間	2013年11月～2014年8月
実施地域	東山区貞教学区
寄附実績額	166,798円（17名）

音楽活動を行うNPO 法人と自治連合会が連携して
音楽を通じて地域イベントを活性化



◇ 連携した活動が必要だった理由

（幅広い層が交流できる場をつくる）

京都らしい風情があらわれる「貞教学区」ですが、道路幅の問題から住宅の建て替えが難しいなどの理由で新しい世帯が入居しづらく、少子高齢化が進み、福祉の面では独居高齢者の増加や地域育児機能の低下、障がい者の外出困難等の課題があります。

地域では、これまでも多くの福祉イベント等を開催してきましたが、参加者は固定化し、事業はマンネリ化。この状態を打破するためにNPO 法人音の風の強みである「音楽」を使い、これまで地域の取組に関心がなかった方々と新たにつながること、幅広い層が交流できる場をつくる必要があると考え、取組をはじめました。

◇ 連携のきっかけとそのプロセス

（NPOの得意分野を活かして地域の課題解決ができるのでは）

貞教学区は、音の風を設立した時に事務所を構えた学区で、これまでも地域の行事のお手伝いをしていました。初めはただお手伝いするだけでしたが、継続していくことで少しずつ地域の方々との関係ができ、行事のことや地域の課題を聞く中で、「NPOの得意分野を活かして地域の方々との課題解決ができるのでは」と考え、連携がはじまりました。

地域のみなさまに理解いただくために、打合せや説明を何度も重ねることで、事業の実施に至ることができました。

◇ 実施したこと

（「音楽」を取り入れた地域イベント）

従来から地域で取り組んでいる学区の「ふれあい福祉まつり」を、音の風が協力して実施しました。

これまでの福祉関係のブース出展や飲食ブースの出店だけではなく、音の風のノウハウを活かし、ステージアトラクションとしてコンサートなどの音楽アトラクションを取り入れました。

また、「夏祭り」でも、これまで以上に音楽アトラクションを増やして、従来参加されていなかった住民の方々に参加いただく機会をつくることができました。

貞教ふれあい福祉まつり



◇ 連携してみて

（地域の奥深さ）

イベントのお手伝い感覚でお互いが関わっていた頃には見えなかった地域住民の思いやつながりを、連携事業を通じて1年間でしっかり感じることができました。

また、連携のために何度も話し合いを行うことで、お互いの思いをしっかりと擦り合わせることができました。結果、地域住民に賛同を得ながら、寄附もスムーズに集めることができました。

◇ これからの展望

（必要なときに支え合うことができる関係）

地域の課題を地域住民で解決するためのきっかけとして、まずは住民同士が出会い、つながることが大切です。そして、さらにお互いのことを知り合うための継続的な関係づくりが大事になってくると感じています。

今回、地域団体とNPO法人が1年を通じて事業を実施したことで、はじめて見えた思いや事情もそれぞれにあり、この関係性をより良く持続させていくために、日常の関わりを大切にしていきたいと思います。

また、そのことは住民同士でも言えることで、今回の事業を通じて出会った新たな住民の方々との関係が続くよう、今後の行事でも関係づくりを意識していきたいと思います。

そうした人と人のつながりが、何か問題が起こった時に役立ち、お互いの気持ちの支えになると思います。

貞教夏祭り



ミュージカルで地域に広げる振り込め詐欺への防犯意識！

地域団体	山科地域防犯推進委員協議会大宅支部
NPO 法人	発起塾
事業名	振り込め詐欺撲滅ミュージカルの上演
事業実施期間	2013年11月～2015年3月
実施地域	山科区大宅学区
寄附実績額	460,724円（40名）

演劇活動を行うNPO法人と防犯推進委員が連携して
「振り込め詐欺撲滅ミュージカル」を開催



◇ 連携した活動が必要だった理由

（ますます増える振り込め詐欺被害）

日本全国で振り込め詐欺が巧妙化し、被害額も年々大きくなるなかで、実際の被害を防ぐために、最新の手口などをわかりやすく広報していく手段が不足していると感じていました。

高齢化が進む大宅学区において、地域の実際の犯罪状況などを踏まえ、振り込め詐欺に関する手口を具体的に住民に伝えていくための方法として、『ミュージカル』に興味・関心を持っていただき、理解いただけるのではないかと取組をはじめました。

◇ 連携のきっかけとそのプロセス

（地域に住む法人メンバーが仲介）

もともと、大宅学区にNPO法人発起塾のメンバーが住んでおり、これまでから、発起塾が開催する公演に地域の方々と一緒に観にきてくださっていました。

今回、発起塾が連携事業に取り組もうと考えた時、いくつかの地域に相談しましたが、もともと発起塾の公演を観にきてくださっていた地域の方々にメンバーから相談したことで、話合いの場を持つことができました。そこから電話やメールで確認をとりながら協議を進め、中身をつめていきました。

◇ 実施したこと

(警察や地域と協力して台本づくり)

ミュージカルという手法ですが、大切なのは振り込め詐欺の最新の手口をタイムリーに具体的に伝えることです。そのために、警察に取材を行って実際の手口や被害ケースをもとに台本づくりを進め、また、連携する地域の防犯推進委員に相談しながら地域住民に伝えていく内容を決めて、ミュージカルの公演を行いました。

(現職警察官も一緒にミュージカル出演)

第1回公演では、連携先の地域の小学校体育館を会場にして、ミュージカル公演と警察署による振り込め詐欺についての講習を実施しました。

ミュージカルには、地域の方々と山科区内の各地域団体の方にもお声がけし、多くの方々に振り込め詐欺被害について理解をしていただけました。

ミュージカルで伝えるという新しい手法をアピールし、今後、防犯意識を高める場として様々な地域で広がっていくきっかけになったと考えています。大宅学区では再度公演を行い、これからの展開を一緒に考えていく予定です。

振り込め詐欺撲滅
ミュージカル



◇ 連携してみても

(地域への浸透)

連携事業に取り組めたのは、地域の中に発起塾の活動を知っていただいている方がいたからこそだと思います。

寄附募集についても、地域団体とNPO法人が各々のルートで広く募っていくことで大きな額の寄附を集めることができました。そして、地域の中で寄附募集や公演の案内をしたことで、発起塾の活動自体の認知が少しずつ高まり、また、鑑賞いただいた他地域の方々となつながら、このミュージカルをより多く公演する機会を得ることができました。そのことは、今後の振り込め詐欺撲滅への大きな成果と考えています。

◇ これからの展望

(ご縁でつながる他地域への波及)

地域での公演の際に、同じ区内の他の自治会等の関係者から声をかけていただき、公演を観ていただいたご縁から、新しい地域での公演依頼が増えてきています。

また、防犯教室としても導入しやすいことから、他地域の警察からの依頼もあり、その地域の声を踏まえながら、これからも上演していく予定です。

(多世代で鑑賞して地域防犯)

ミュージカルは、高齢者だけではなく子どもから楽しめるものであるため、多様な世代の方々に観ていただき、その中で地域全体の防犯意識を高めて行くことができればと思います。

お声がけいただければ、いつでも、どこにでもお伺いして上演させていただきますので、是非、ご連絡ください!

「本」を通じた住民のきずなづくりへのチャレンジ！

地域団体	パラドール嵯峨野自治会
NPO 法人	子育ては親育て みのりのもり劇場
事業名	パラドール嵯峨野きずな育み事業
事業実施期間	2013年11月～2015年3月
実施地域	右京区嵯峨野学区
寄附実績額	120,653円（22名）

マンション自治会と多世代の交流等に取り組むNPO法人が連携して
マンション内に住民交流の場となる「図書館」を開設



◇ 連携した活動が必要だった理由

（住民が理解し合え、関係性をつくれるように）

パラドール嵯峨野自治会は、2011年にマンション完成後、1年かけて住民有志が準備して設立した新しいマンション自治会です。住民間のつながりがまだまだ希薄なこともあり、相互理解や助け合いができる関係をつくっていくことが自治会の目標の1つでした。

そのような問題意識のもと、住民が集い、関わり合いをつくれる仕掛けが必要であると考え、そのスキル・企画力をもった、地元のNPO法人である「子育ては親育て みのりのもり劇場」と連携して活動することになりました。

◇ 連携のきっかけとそのプロセス

（課題の解決にマッチするNPOの存在）

自治会で議論を重ね、孤立のないマンション・コミュニティを築いていくためには、多世代が交流できる場を創出していくことが必要となりました。

そこで、連携事業を活用することが効果的であると考え、子どもから大人まで参加できる場づくりやコーディネートノウハウを有する地元のNPO法人である「子育ては親育て みのりのもり劇場」に相談しました。その後、みのりのもり劇場からの提案を自治会役員にて議論した結果、事業を実施することになりました。

◇ 実施したこと

(本を通じた交流の場としての図書館づくり)

寄附募集とともに、「きずなづくり」のために具体的に何ができるか検討を重ねました。その中でアイデアとして出たのが「本を通じた交流の場」づくりです。京都市未来まちづくり 100 人委員会の 1 チームで取り組んだ「ことしょ」を参考に、マンション内に図書コーナーを設置することになりました。

本は主に寄附という形で募集し、本棚はみのりのもり劇場とのご縁で、地元木工業者さんに地元産の木で製作していただきました。

2014 年秋にはマンション管理組合の理解を得て、月 1, 2 回ほど図書コーナーを仮オープンしました。そこで、運用方法等の課題も見えました。

年末のクリスマス会では「本の大切さと、関わり合いの大切さ」をテーマにした「みのりのもり劇場」による演劇を披露していただき、合わせてマンション住民に図書コーナーの名称を募集しました。

決定した名称が「集いの図書館『ぱらら』」となり、2015 年 3 月には開設記念イベントを開催しました。今後は、本を通して交流できる場をプロデュースしていく予定です。

年末のクリスマス会



◇ 連携してみて

(ノウハウを提供してもらうことで円滑に)

試行錯誤を重ねながらですが、自治会メンバーだけではなく、地域のために活動している NPO 法人や、活動に必要な情報やノウハウを提供・アドバイスしてくれる機関との連携があって活動が進んでいます。

そうした連携は、今後、課題解決や交流づくりを進めていくには不可欠なことだと感じています。そのためには、連携のコーディネートを行う仲介役や仕組みが行政や地域に必要であると感じています。

◇ これからの展望

(交流の場は創出。広げていくのはこれから)

2015 年 3 月、集いの図書館「ぱらら」が多くの方々との協力、アイデア、寄附で実現しました。

しかし、場はあっても活用されず、相互理解や交流が生まれなければ意味がありません。この場をどういかにしていくのか、引き続き、みのりのもり劇場も含め、町内外の皆様と知恵を出し合い、きずなづくりを進めていきます。

みのりのもり劇場の演劇
(年末のクリスマス会)



アートで商店街を出会いとバリアフリーの空間に！

地域団体	南浜学区社会福祉協議会
NPO 法人	福祉工房 P&P
事業名	納屋町商店街バリアフリー化促進事業 ～アート・交流・サポート～
事業実施期間	2013年11月～2015年3月
実施地域	伏見区納屋町商店街
寄附実績額	197,004円(21名)

障がい者の就労支援に取り組むNPO 法人と学区社会福祉協議会が連携して商店街で障がいのある方や高齢者の「アート展」を開催



◇ 連携した活動が必要だった理由

（住み慣れたまちで暮らし続けられるように）

納屋町商店街の周辺は高齢者が多く、また、障がいのある方の作業所も多数あります。しかし、高齢者や障がいのある方の介護者は不足がちで、買い物等の日常生活もスムーズではない状況です。

これまでから、バリアフリー講習会の実施やバリアフリー通信の発行をしてきましたが、地域住民の皆様にも更なる理解を深めていただき、高齢者や障がいのある方々がさらに地域に出たいと思えるような「交流の機会」と「バリアフリー化」を進めていく必要があると考え、取組をはじめました。

◇ 連携のきっかけとそのプロセス

（各々につながる機関や人がいたことで連携はスムーズに）

高齢者及び障がい者福祉という観点から連携先を考えたときに、まず、地域で社会福祉事業に取り組んでいる伏見区社会福祉協議会に相談し、その後、南浜学区社会福祉協議会をつないでいただきました。各々につながる機関や人がいたことで、連携はスムーズに進みました。

◇ 実施したこと

（商店街をアート&交流空間に！）

高齢者や障がい者の皆様が制作したアート作品を募集し、その作品を納屋町商店街の協力店舗で展示させていただきました。

この取組を進める中で、商店街のコミュニティホールや商店そのもののバリアフリー化が進むように働きかけも行いました。

そして、協力の輪が広がり、2014年4月からは月1回の展示会を定期的で開催し、多くの方々に観に来ていただきました。

商店街に並ぶ
障がい者や高齢者の作品



◇ 連携してみて

（想定以上のバリアフリー化の進展）

当初は、商店街で展示している作品を見に来る地域住民の皆様に、バリアフリーへの関心を高めることが大きな目的でした。事業を実施してみると、その目的を超えて、施設に車いす用トイレや階段昇降機が整備されるなど、協力してくださった商店の店舗や施設など、地域のバリアフリー環境の整備が進みました。

さらに、地元の金融機関も取組に賛同していただき、作品の展示会場として使用させていただくなど、地域の中で大きな広がりが生まれました。

また、定期的に展覧会を開催することで、何度も足を運んでくださる方も増えて、バリアフリー化の取組が商店街への新たな来訪者を創出し、地域や商店街の活性化の一助になったと思います。何より、高齢者や障がいのある方への地域住民の理解が深まったことが、一番の成果であると考えています。

◇ これからの展望

（より日常のお付き合いを）

まだまだ商店街としても多くのバリアフリー空間を生み出した訳ではなく、また、持続的に活動していくためには、体制も不十分な状況です。

また、地域住民が一丸となって取り組むためには、この取組への理解を広めていくことも必要です。時間をかけて両方で相談しながら、障がいのある方や高齢者が安心して商店街で買い物ができるよう、できることから取り組んでいきたいと思っています。

2013年度 採択事業

みんなの「働く」をつくろう～地域の暮らしと商店街をつなぐ「働く」を考える！～

【地域団体】京極住民福祉連合会、京極各種団体連絡会 【NPO法人】みんなのNPO
【事業実施期間】2014年4月～12月
【実施地域】上京区京極学区 【寄附実績額】150,591円（23名）

地域福祉

上京区京極学区の住民・商店街等との関わり合いの中で、障がいがあるなど、何らかの「働きづらさ」がある人の社会参画の場や機会を創出できる可能性を考えることとしました。その前段階として、独居高齢の人の日中活動の場である「京極スマイルさろん」の展開支援を試行しました。



まちなかの暮らしを知る

【地域団体】明倫学区まちづくり委員会 【NPO法人】京町家再生研究会
【事業実施期間】2014年4月～2015年3月
【実施地域】中京区明倫学区 【寄附実績額】165,504円（26名）

景観保全

町家とマンションが混在する中京区明倫学区において、界隈の歴史、住まいとしての町家の魅力や正しい改修の在り方を知る勉強会、お茶会などを開催しました。

まちなかに暮らす意義を学区のみなさんと見つめ直し、今後のまちづくりの在り方を検討しました。



大原花いっぱい運動の展開

【地域団体】大原地域環境美化推進協議会 【NPO法人】京都大原里づくり協会
【事業実施期間】2013年11月～2015年3月
【実施地域】左京区大原学区 【寄附実績額】170,004円（23名）

環境

大原地域で昔から育てられ、守られてきた花である「ミヤマヨメナ（大原菊）」を地域全域に育て、花を咲かせ、環境美化による観光地としての魅力を高めるとともに、「地域の花」の育成を通して住民相互のつながりを深める取組を進めました。



2013年度 採択事業

花と香で深草のまちを彩る藤袴プロジェクト

【地域団体】深草学区保健協議会 【NPO法人】京都・深草ふれあい隊 竹と緑

【事業実施期間】2014年4月～2015年3月

【実施地域】伏見区深草学区 【寄附実績額】182,505円(17名)

まちづくり

深草地域にかつて自生しており、現在は京都府において絶滅寸前危惧種に指定されている「ふしはかま藤袴」を地域の花として育てることを呼びかけ、実践していくことで、住民間の結びつきを高め、美しいまち深草を築いていくための取組を進めました。



地域イベントを活用した地域団体・住民とNPOの出会いの場づくり

【地域団体】山階学区自治連合会 【NPO法人】山科醍醐こどものひろば

【事業実施期間】2013年11月～2015年3月

【実施地域】山科区山階学区 【寄附実績額】154,674円(23名)

子育て支援

山科区山階学区の地域イベント「こどもフェスタ」等で、若い世代にも積極的に参加を呼びかけ、企画段階から参加できるサポート体制をつくり、子育て中の親と地域、NPOと学生等の出会いの場を創出し、多世代・多様な主体の交流を図りながら、地域活性化の取組を進めました。



桂徳地域への虹の架け橋

【地域団体】桂徳社会福祉協議会 【NPO法人】子どもの村 Kyoto

【事業実施期間】2013年11月～2014年6月

【実施地域】西京区桂徳学区 【寄附実績額】276,204円(18名)

子育て支援

西京区桂徳学区において、児童福祉施設に入居する虐待等で傷ついた子ども達と地域の大人と一緒に灯籠づくりや演奏会等のイベントを開催し、子育てに悩む親も安心できる場をつくり、地域全体で子ども達を見守って社会に羽ばたいてもらうための支援活動を行いました。



地域とNPO法人をつないで「水尾」に根づく活動づくり

地域団体	水尾自治会
NPO 法人	和の学校
事業名	こころ塾 IN 水尾～水尾の里を、学び、遊び、味わい、伝えよう！～
事業実施期間	2014年11月～2016年3月
実施地域	右京区水尾学区
寄附実績額	157,522円（30名）

伝統文化の発信等を行うNPO法人と自治会が連携して
「水尾」の文化・魅力を発信



◇ 連携した活動が必要だった理由

（水尾のファンを増やしたい！）

水尾は、日本の柚子発祥の地といわれ、「水尾の柚子」は和食、和菓子、洋菓子、飲料、香料など、様々な場面で使用されています。また、自然や文化も豊かな里です。その一方で、高齢化が進み、柚子生産の後継者不足が深刻になっています。

また、アクセスも良くないため、継続的に里に関わってくれる方が少ないという課題があります。

そうした課題を解決するため、水尾の里の素晴らしさを伝え、水尾の里の魅力を知っていただく新しい事業に取り組むことや、地道に、細く長く継続する活動に取り組むことが必要でした。

◇ 連携のきっかけとそのプロセス

（京都市のコーディネートにより「お見合い」）

NPO法人和の学校では、始めは連携事業の相手先の地域団体が見つかりませんでした。そこで、京都市にコーディネートを求めたところ、右京区役所から情報提供がありました。京都市の仲介により右京区役所で水尾自治会と「お見合い」をして、地域の現状を伺い、その現状に対し、NPOができることを一緒に考え、現地にお伺いするなど、何度もやり取りをさせていただき、事業を実施することになりました。

◇ 実施したこと

（水尾の里の魅力に迫る）

まずは和の学校が水尾のことを詳しく知るために、現地を訪問し、地域の方々から地域の話やこれまでの取組を聞き、その上で何ができるか意見交換を重ねました。

また、水尾の柚子を使った産品を紹介するイベントに参加する際には、協力し合い、水尾の柚子や水尾について、多くの方に知っていただく取組を進めました。

（「こころ塾 IN 水尾」で魅力に触れる）

これまで和の学校が取り組んでいる「日本の文化やその心を伝えるための講座や体験会」を実施する『こころ塾』という活動の中で、今後1年間は「水尾」をテーマにして、水尾の文化や素晴らしさを伝えていく取組を企画しています。

イベントにブース出展
▽柚子石鹸づくりの体験



◇ 連携してみて

（地域にない機動力、発信力）

京都市や右京区役所の紹介により出会い、1から関係づくりを行いました。連携を進めるために地域住民の方との交流を重ね、理解を得ていくなかで、少し距離を置いていた水尾の住民の方も意識が変わってきたように思います。

そして、住民の方々に、これまでの活動で見えたNPOが持つ発信力、法人内のチームワーク、機動力が頼りになることも実感していただきました。

（地域の姿を見つめる機会に）

和の学校では、何より地域との信頼関係がないと事業の実施ができないと思い、地道に細く長く関わって行くことを意識して、関係づくりを行ってきました。

そして、「水尾地域で何ができるのか」NPOとしての役割を具体的に考え、形にしていくことを進めています。はじめは漠然としていた地域像でしたが、実際に「営み・文化」に触れていくことで、人の顔が見え、地域の姿を実感することができました。

◇ これからの展望

（より日常のお付合いを細く長く）

まだまだ関係を作りだしたところですので、右京区役所も交えて、細く、長いお付き合いをしていくことが、まず大切だと考えています。

また、今後も活動を継続できるように、募金活動など地域の方々に協力いただき、活動の基盤づくりも進めていきたいと考えています。

2014年度 採択事業

嵯峨野保勝会と学生が伝える「こんなにええところもって知って」

【地域団体】嵯峨野保勝会 【NPO法人】フラワーサイコロジー協会
【事業実施期間】2014年11月～2016年3月
【実施地域】右京区嵯峨学区 【寄附実績額】223,400円（18名）

まちづくり

伝統的な建物が立ち並ぶ嵯峨鳥居本において、地域住民や学生等が文化や観光等をテーマにしたワークショップを行い、嵯峨鳥居本の魅力を発信する冊子の作成や写真の展示会を開催するなど、地域の伝統を守り発展させ、嵯峨鳥居本に多くの方に立ち寄っていただけるような取組を進めていきます。



障がいのある人と子どもたちが“楽しく”出会うプロジェクト

【地域団体】上賀茂児童館運営協力会 【NPO法人】スウィング
【事業実施期間】2015年4月～2016年3月
【実施地域】北区上賀茂学区 【寄附実績額】137,550円（24名）

地域福祉

障がいのある人達と子ども達が一緒になって、お絵描きやものづくりのワークショップ、寸劇等を行うなど、同じ空間で同じ時間を過ごし、楽しみながら交流を深め、「体験」していくことで、障がいの有無に関わらず交流し合える地域づくりに取り組んでいきます。



待賢エコプロジェクト～元待賢小学校を拠点に地域協働で資源ごみ回収～

【地域団体】待賢住民福祉連合協議会 【NPO法人】京都景観フォーラム
【事業実施期間】2014年11月～2016年3月
【実施地域】上京区待賢学区 【寄附実績額】154,930円（27名）

環境

地域ぐるみでエコ活動に取り組んでいる待賢学区において、元待賢小学校を拠点に生ごみを堆肥化し、幼稚園等の施設や家庭菜園等で活用するとともに、ごみの減量・分別を学び、体験する勉強会等を開催するなど、地域ぐるみで資源ごみの回収・リサイクル活動を進めていきます。



2014年度 採択事業

岡崎芸術祭～文化・芸術の街 岡崎～

【地域団体】岡崎自治連合会 【NPO法人】音の風
【事業実施期間】2014年11月～2015年3月
【実施地域】左京区岡崎学区 【寄附実績額】153,850円(19名)

文化芸術

多くの観光客が訪れ、賑わいと活気にあふれた街「岡崎」において、地域発のイベント「岡崎芸術祭」を開催し、文化芸術を通じて地域住民の交流を図り、住民間のつながりを深めていくとともに、「文化・芸術の街 岡崎」の魅力を地域が主体となって発信していきます。



「映画原点の地・立誠」における、映画文化による地域づくりと、映画振興事業

【地域団体】立誠自治連合会 【NPO法人】劇研
【事業実施期間】2015年8月～11月
【実施地域】中京区立誠学区 【寄附実績額】161,350円(15名)

文化芸術

「映画原点の地・立誠」をPRするための広報物や映像等を作成するとともに、元・立誠小学校を活用して映画イベントを実施するなど、木屋町への来訪を促進し、文化芸術を通じた地域の活性化に取り組んでいきます。



若者と高齢者をつなげる「さんクラ」～三条通でクラシック～

【地域団体】京の三条まちづくり協議会 【NPO法人】京都フィルハーモニー室内合奏団
【事業実施期間】2014年11月～2015年9月
【実施地域】中京区日彰学区 【寄附実績額】188,550円(42名)

文化芸術

「音楽を通じて新たな出会いを作る」をキーワードに、三条通界隈の店舗に協力を得ながら各店舗で気軽に誰でも参加できるクラシック音楽のミニコンサートを実施し、子どもから大人まで世代を超えた住民相互の交流を深めるとともに、更なるまちの魅力の向上に取り組んでいきます。



2014年度 採択事業

共生型防災まちづくり “ペットも朱四のなかま！プロジェクト”

【地域団体】朱雀第四学区自治連合会 【NPO法人】アンビシャス

【事業実施期間】2014年11月～2016年3月

【実施地域】中京区朱雀第四学区 【寄附実績額】401,265円(37名)

防災・動物愛護

災害時にペットと円滑に同行避難できるよう、飼い主とペットと一緒に災害時を想定した避難訓練を行うとともに、学区内のペット飼育の実態把握調査を行い、災害時に備えて人と動物の生命を守る行動や心得を地域住民とともに具体的に検討していきます。



地域団体とNPO法人の連携促進事業 ～寄附実績～

2013年度

■寄附募集を行った事業数（採択事業数）

10事業

■寄附募集の期間

2013年10月31日（木）～2014年3月10日（月）

■寄附募集の結果

- ・寄附募集額（目標）：合計 2,027,800円
- ・寄附実績額（結果）：合計 2,044,661円（寄附者数：230名）

2014年度

■寄附募集を行った事業数（採択事業数）

8事業

■寄附募集の期間

2014年10月31日（金）～2015年3月9日（月）

■寄附募集の結果

- ・寄附募集額（目標）：合計 1,575,000円
- ・寄附実績額（結果）：合計 1,578,417円（寄附者数：212名）

連携して取り組んだからこそ気づいた「地域之力」、 「連携・寄附募集のコツ」、
そして生まれた「成果」。

事例集では、取組の概要とエッセンスを紹介しましたが、「もっと深く知りたい！」
という場合は、京都市 文化市民局 地域自治推進室、又は（公財）京都地
域創造基金へお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

京都市 文化市民局 地域自治推進室 市民活動支援担当

TEL：075-222-4072

FAX：075-222-3042

E-mail：shiminkatsudo@city.kyoto.jp

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地



公益財団法人 京都地域創造基金

<http://www.plus-social.jp/>

TEL：075-257-7883

FAX：075-257-7884

E-mail：office@plus-social.jp

〒602-0862

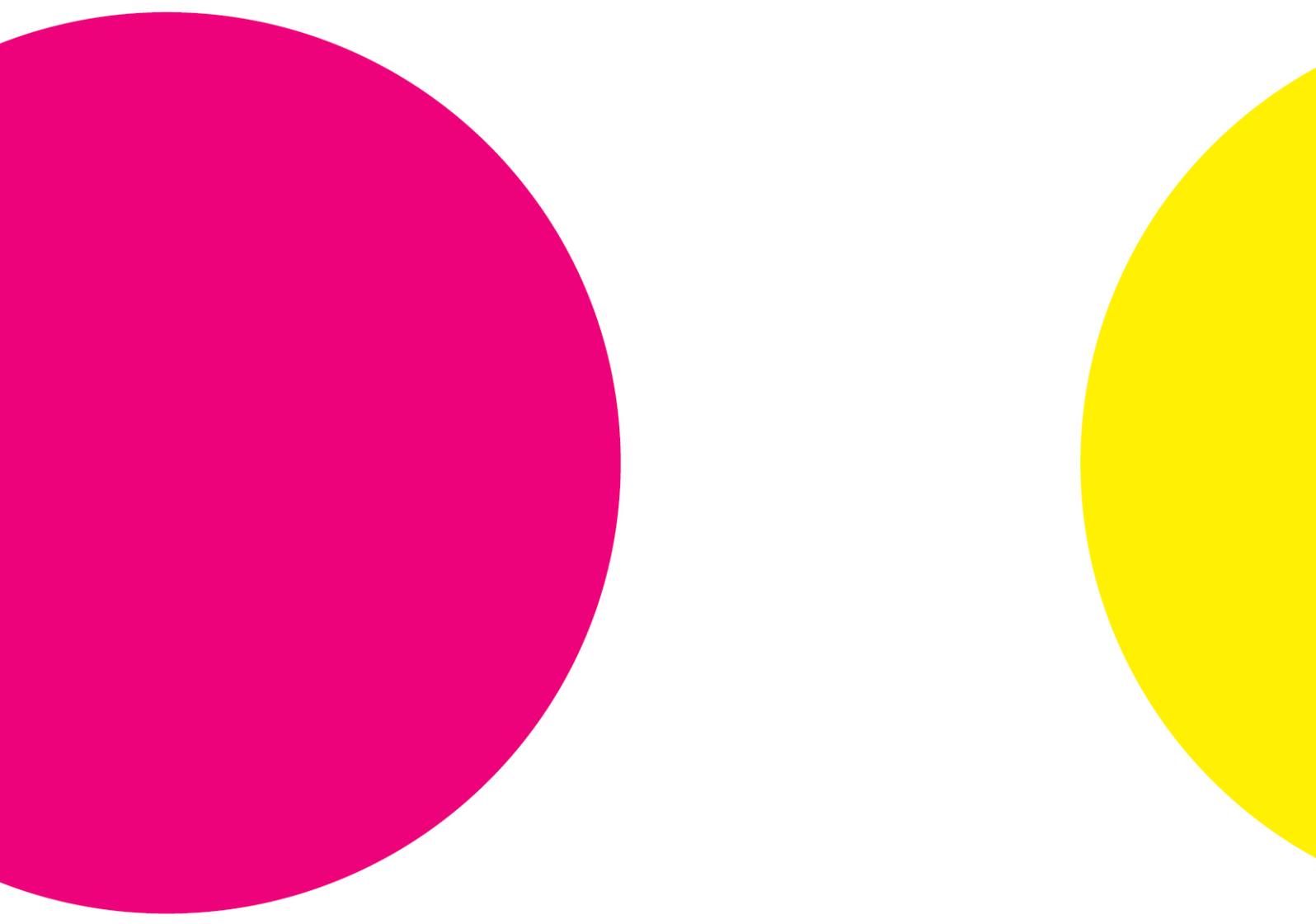
京都市上京区河原町通丸太町上る出水町284番地
(西三本木通丸太町上ル200m)



京都市自治会・町内会&NPOおうえんポータルサイト
～NPO法人や自治会に関する情報を検索できます～

<http://www5.city.kyoto.jp/chiiki-npo/>

京都市 おうえんポータル 検索



発行

公益財団法人 京都地域創造基金

〒602-0862 京都市上京区河原町通丸太町上る出水町284番地

TEL : 075-257-7883 FAX : 075-257-7884

<http://plus-social.jp/>

京都市 文化市民局
地域自治推進室 市民活動支援担当

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

TEL : 075-222-4072 FAX : 075-222-3042